

コンゴ(共)月例報告
2016年7月

【ポイント】

- サス・ンゲソ大統領は14回目となる訪中を行い、習近平国家主席と会談したほか、2億人民元にのぼる11件の協力協定に署名を行った。
- ゲイ・ブリス・パルフェ・コレラ野党議員(コンゴ民主統合発展運動(MCDDI)幹事長)は、包括的な対話の実施を呼びかけた。
- 本年6月末、国連は対コンゴ(民)人難民支援を打ち切った。現在、コンゴ(共)に滞在内のコンゴ(民)人難民は2万人に上る。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政

(1)国家審議委員会の設置法案

23日に開催された閣議において、5分野(①対話、②賢人・伝統有力者、③女性、④障がい者、⑤若者・市民社会とNGO)における国家審議委員会の設置法案が採択された。

(2)ポーラン・マカヤ統一コンゴ党(UPC)党首への判決

25日、ブラザビル市内大審裁判所は、昨年10月に無許可デモを主導したとして、ブラザビル刑務所に拘束されていたポーラン・マカヤ統一コンゴ党(UPC)党首の判決として懲役24か月と罰金3810ユーロを言い渡した。同氏は、ベルナール・コレラ元首相の側近で1997年から2014年まで17年間海外へ亡命していた。

(3)政治対話に関する呼びかけ

29日に行われた記者会見にて、3月20日に実施された大統領選挙で2位となった、ゲイ・ブリス・パルフェ・コレラ野党議員(コンゴ民主統合発展運動(MCDDI)幹事長、野党議員)は、サス・ンゲソ大統領に対して、包括的な対話の開始と独立記念日(8月15日)に政治犯への恩赦を行うよう呼びかけた。

2 外政

(1)中国

4日から8日の間、サス・ンゲソ大統領は、14回目となる訪中を行い、習近平国家主席と会談したほか、2億人民元にのぼる11件の協力協定に署名を行った。主な署名は、ポワント・ノワール特別経済地区のインフラ整備に係る協力協定(鉱山用港の再建築、コンゴ・オセアン鉄道(CFAO)の近代化)、コンゴ(共)を拠点とした人民元からCFAフランへの兌換に関する協定、中国企業からのコンゴ(共)債務買戻しに関する署名、中国国家発展改革委員会・コンゴ(共)国土整備・大型公共事業省間の協力協

定、両国農業大臣間による協力協定、国費留学生の人数枠の増加に関する合意(年間230名から同300名へ変更)である。

(2)EU

12日、ブラザビルにおいて、コンゴ(共)出張中のコエフ欧州対外活動庁アフリカ総局長が、ガソ外務・協力・在外コンゴ人大臣と会談し、EU・コンゴ(共)間パートナーシップの再活性化を希望する旨伝えた。

(3)コンゴ(民)

本年6月末、国連は対コンゴ(民)人難民支援を打ち切った。コンゴ(民)近隣国に滞在する難民は計14万人に上り、内、コンゴ(共)に滞在するコンゴ(民)人難民は2万人に上る。

(4)キューバ

6月29日、キューバはキューバ人医師200名をコンゴ(共)へ派遣する旨発表した。過去3年、2000名超のコンゴ(共)人がキューバで医療を勉強している。

(5)地域機関

ア 18日、ガソ外務・協力・在外コンゴ人大臣はルワンダにて開催された第27回AU総会に参加し、AU発行の旅券作成の可能性、国際刑事裁判所(ICC)から撤退する可能性につき協議した。

イ 30日、ガソ外務・協力・在外コンゴ人大臣は、赤道ギニアにて開催された中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC臨時首脳会合)へ参加し中央アフリカ情勢及びEUとの経済パートナーシップ交渉につき協議した。

3 経済

(1)船着き場近代化事業

21日、ジルベール・モコキ交通・民間航空・海運大臣は、2013年から中国企業(Studi社)が着工したブラザビル船着き場の近代化工事の現場を訪問した。本事業は実施率78%であり、政府の支払い遅れ等により1年以上工事が遅れている。

(2)インフラ事業

27日、中国鉄道建設有限会社役員会は、ブラザビル及びマプト(モザンビーク)にて事務所を開設する旨決定した。両国において、鉄道、土木、道路インフラ、建物事業を行っていく予定。

(3)中国のガス油田探掘事業

29日に催された閣議にて、ポワント・ノワール市の南東に位置するバンガ・カヨ石油鉱脈のガス油田開発許可を中国企業(Wing Wah社)に割り当てる草案が採択された。同社は2006年4月にガス油田の石油鉱脈の調査許可を取得し国営石油会社(SNPC)と合併会社を運営している。

3 日本に関する報道

(1)6日、ブラザビル市内にて、平成26年度対コンゴ(共)草の根・人間の安全保障無償資金協力「コンベ保健センター建設計画(1127万円)」の引渡し式典が開催され、コンゴ(共)からンズィル・コンベ地区長、本計画の被供与団体であるダヴィ・イレネ被供与団体「アフリカの医療団」代表、日本政府を代表して野口臨時代理大使が参加した。

(2)8日、ポワント・ノワール市内にて、平成27年度対コンゴ(共)草の根・人間の安全保障無償資金協力「ポワント・ノワール消防車救急車整備及び消防研修計画(1832万円)」の引渡し式典が開催され、コンゴ(共)からジャック・バノゴ内務省市民安全局長、ブリュノー・ブツァナ・ポワント・ノワール県副知事、ヴィクター・フディ・ポワント・ノワール第一副市長等、日本政府を代表して野口臨時代理大使が参加した。

(3)18日、ブラザビル市内にて、シプリアン・シルベストル・マミナ外務・協力・在外コンゴ人省次官及び野口臨時代理大使が、平成27年度対コンゴ民主共和国無償資金協力「経済社会開発計画(2億円)」にかかる署名を行った。